

令和7年度 学校経営計画

四條畷市立四條畷西中学校

I 学校経営方針

【1】学校教育目標等について

令和7年度から、学校教育目標を以下のとおり改め、生徒自身がより明確に自己実現をめざせるようにした。
なお、これまでの学校教育目標を「めざす子ども像」とし、学習をはじめとするさまざまな学校生活に取り組む姿勢として示すことで、これまでの本校の取組みに継続性があるようにした。

【校訓】自学 創造 克己

【学校教育目標】「なりたい自分」になる力をつける

【めざす子ども像】夢に向かって自ら学び、何事にも前向きに取り組む生徒

【2】学校経営方針について

四條畷市教育振興基本計画の基本理念「みんなの学びが叶うまち～生涯 学び 夢 挑戦～」及び基本方針並びに本校の状況をふまえ、本校の学校経営方針を以下のとおりとする。

【方針1】※「四條畷市教育振興基本計画」基本方針1 主体的に考え行動する「生きる力」を育む教育の推進

授業改善のための研究テーマ「単元ベースの授業づくりを通して、学習内容の定着を図る」に基づいて授業改善を推進し、授業での学びをベースに、自己調整力や計画的・主体的に学習に取り組む力を育成する。

《中心となる校務分掌等：学力向上部》

- 生徒が見通しをもって学ぶための、授業の「単元計画」「めあて」「流れ」の提示 及び「振り返り」の質の向上
- さまざまな学習形態（個人・ペア・グループ等）をとおして、多様な他者と協働する経験の充実
- 学習内容の定着の確認・結果分析
 - 短期：単元テスト・授業内でのパフォーマンステスト等
 - 長期：定着確認テスト・実力テスト・NRT・大阪府中学生チャレンジテスト・全国学力・学習状況調査等
- 学習等の自己調整を促す手立てとして「夢ノート」を活用、学習支援の場としてFUD（補習）を実施

【方針2】※「四條畷市教育振興基本計画」基本方針2 個を認め、寄り添い、活かす教育の推進

校内のUD（ユニバーサルデザイン）を推進し、多様なニーズに対応して個別最適な学びを支えるとともに、人権教育や道徳の授業をとおして他者や自分を価値ある存在として尊重する意識や実践力を育成する。

《中心となる校務分掌等：支援教育コーディネーター/道徳人権部》

- 授業のUD：「何をするのか」「今何をしているのか」をわかりやすくするための、「単元計画」「めあて」「流れ」の提示
- 環境のUD：掲示物や物を整理整頓し、教室や廊下を整え、授業に集中できる環境づくり
- 学習の成果物や望ましい環境を示す掲示物等による視覚支援
- 「西中人権カリキュラム」の実践、平和集会・人権集会の実施
- 全教員によるローテーションの道徳授業・オープンスクールでの公開授業

【方針3】※「四條畷市教育振興基本計画」基本方針3 地域の教育コミュニティづくりへの支援

PTA・学校運営協議会等の諸団体と連携し、学校運営に保護者や地域住民が参画し、地域全体で子どもの成長を促し、見守る「地域とともにある学校」づくりをめざす。

《中心となる校務分掌等：校長、教頭、PTA 担当教員》

- PTA の取組み：花植え、図書ボランティア、行事の運営協力、水泳の授業の見守り、生徒会執行部との座談会、卒業式フォトスポットの設置、学校運営協議会との連携 等
- 学校運営協議会の取組み：昼休みの見守り、PTA 図書ボランティアとの連携、校内清掃 等

【方針4】※「四條畷市教育振興基本計画」基本方針4 豊かな生涯学習活動と地域を創造する学びの支援

文化芸術・スポーツ等に触れる行事や取組みをとおして、生涯学習につながる資質・能力を育成する。

《中心となる校務分掌等：各行事・部活動・生徒会・各種委員会担当教員》

- 学校行事：西フェス（体育の部・文化の部）・芸術鑑賞・校外学習・スキー林間・修学旅行
- 部活動
- 文化委員の生徒によるキャンペーンや授業での図書室活用による読書推進
- PTA・学校運営協議会図書ボランティアによる昼休み・放課後の図書室開室支援

【方針5】※「四條畷市教育振興基本計画」基本方針5 学びを支える教育環境の整備

誰もが安心して安全に使えるよう環境を整備する意識を醸成するとともに、食育等自己の健康を管理するための知識や実践力を身につける。

《中心となる校務分掌等：健康安全部》

- 清掃活動や物の管理等による身の周りの環境整備
- 防災（避難訓練、集団下校 等）や交通安全教育による危機管理能力、冷静な判断力、迅速な行動力の育成
- 食育による、自身の食生活を振り返り改善する力の育成

【方針6】※「四條畷市教育振興基本計画」基本方針6 学びを支える教育体制の整備

教職員研修を実施し、教職員の指導力や資質・能力を向上させる。

《中心となる校務分掌等：各研修担当教員》

- 授業改善研修（年 3 回 うち 1 回は全校公開授業）
- 支援教育研修
- 生徒指導研修
- 本校校区小中学校合同研修（探究的な学び）
- 心肺蘇生法・エピペン講習会
- 働き方改革
- グランドデザイン
- 進路指導学習会

※別添「四條畷市立四條畷西中学校 R7（2025）年度 グランドデザイン」参照

校 長 中村 真奈美

2 めざす学校像、子ども像、教師像（中期目標）

★めざす学校像	・生徒一人ひとりの違いを認め合い、お互いが尊重しあう学校 ・楽しく学び、確かな学力が身につく学校 ・学習環境が整った美しい学校 ・学校・家庭・地域が連携し教育力の向上をめざす学校
★めざす子ども像	夢に向かって自ら学び、何事にも前向きに取り組む生徒
★めざす教師像	・課題を明確に把握し、常に情熱と使命感をもち、職務を遂行する教師 ・豊かな人間性と社会性をもつ教師 ・危機管理意識の高い教師 ・互いに協力し、高めあう、指導の方向性が一致した、温かみあふれる教師集団

3 学校の現状（よさと課題）

（1）子どもたちの実態

令和6年度、教職員が話し合った生徒の長所 及び 今後伸ばしたい力は以下のとおりである。

【長所】素直 元気 コミュニケーション力 支えあう力 責任感 寛容 等

【伸ばしたい力】

学力向上：見通しをもって、主体的に学習に向かい、ねばり強く取り組む力

生徒指導：基本的生活習慣、自制心、自己有用感、思いやり

生徒会活動：貢献力、主体性、巻き込む力

道徳人権：豊かな人権感覚・尊重しあえる人格形成、道徳的な判断力・実践意欲と態度

（2）子どもたちを取り巻く環境

①教育環境

概ね学校と家庭との連携はしやすく、双方が協力して成長を促すことができている。しかし、携帯電話の長時間使用に伴う体調不良や SNSトラブル、基本的生活習慣の乱れが見られる生徒も一部おり、学校として指導が難しい部分もある。

②地域

学校運営協議会をはじめとする地域諸団体による学校への支援体制があり、学校運営上の課題や学校のニーズを共有して、必要に応じて協力を得ている。

③組織（教職員、PTA、保護者）

教職員、PTAとも学校運営に協力的であり、生徒が楽しく学び成長するためのより良い環境を整えたいという思いは共通している。PTA 加入者は減少傾向にあるが、加入・非加入に関係なく学校を支援してくださる保護者も少なくない。

4 今年度の達成目標、具体的な方策

目標設定区分Ⅰ『学校経営』

A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
・生徒が自己の成長を実感したり、自己実現をしたりすることができる。 ・教職員が生徒の成長や自己実現をする姿を見て、本校での働きがいや喜びを感じることができる。		生徒アンケート「西中はよい学校と思う」の否定的回答 現状値 18.3% 目標値 13% 保護者アンケート「学校の雰囲気も良く、子どもたちは生き生きしている」の否定的回答 現状値 17.4% 目標値 12% 教職員アンケート「今年度、教師になってよかったと思う場面があった」の肯定的回答 現状値 70% 目標値 75%
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
生徒アンケート「夢や目標をもって学習に取り組んでいる」の肯定的回答	現状値 74.2% 目標値 79%	・変更した学校教育目標を周知する。 ・生徒に対し、全校集会型の特活で、学力向上、生徒指導、生徒会、道徳人権の各取組みの意義や、それらが学校教育目標実現に向かっていることを一斉に周知する。 ・年間をととして「夢ノート」を活用し、自己実現に向けた自己調整を続けさせる。 ・総合的な学習の時間の内容を、キャリア教育を軸とした探究的な学びになるよう改める。
保護者アンケート「学校は将来の進路や職業などに適切な指導を行っている」の肯定的回答	現状値 77.2% 目標値 80%	・学校だよりや HP 等を通じて、保護者に取り組みや生徒の様子が伝わるようにする。 ・1・2年生も進路に関する3年生の動きを知ったり、進路選択に関心をもったりできるように、情報発信を工夫する。
教職員アンケート「授業や活動が生徒の将来のためにつながると、生徒が感じるように取り組んでいる」の最肯定回答	現状値 27% 目標値 40%	・教員向け進路指導学習会を行い、経験の浅い教員が高校等の入試に関する知識を得るとともに、生徒の自己実現や進路選択のためにより良い助言ができる資質・能力を高める。 ・グランドデザインをもとに、授業をはじめとする教育活動が学校教育目標実現に向かっているという意識づけをする。

目標設定区分2『学校組織の運営』

A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
さまざまな教育活動が学校教育目標実現につながっていることを教職員が理解し、成果や課題を確認しながら同じ方向で実践に活かしている。		教職員アンケート「学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる」の最肯定回答 現状値 47% 目標値 52%
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
教職員アンケート「学校の目標や重点課題に向けた取組みに積極的に参加している」の否定的回答	現状値 11.1% 目標値 5%	・年度初めにグランドデザインを共有し、実践に活かす。 ・2 学期末、次年度に向けてグランドデザインを見直す。 ・本校の課題に正対した教職員研修を実施し、各自が自己の指導力の現状や改善方策を検討し、実践に活かす。
教職員アンケート「各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連の PDCA サイクルを確立している」の肯定的回答	現状値 90% 目標値 93%	・テストやアンケートの結果分析と共有を行い、取組みの成果や改善点を共有して実践に活かす。

目標設定区分3『人の管理・育成』

A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
グランドデザインをふまえて、各自が担うべき役割を自覚して積極的に課題改善の取組みに参画するとともに、互いに協力しながら教職員として成長しあう意識の高まりがみられる。		教職員アンケート「職員会議や部会などの会議では積極的に発言している」の肯定的回答 現状値 44.4% 目標値 50%
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
教職員アンケート「管理職や同僚と意思疎通を図り、協力連携に努めている」の否定的回答	現状値 3.7% 目標値 0%	・評価育成システムの活用や日常のコミュニケーションを通じて十分な意思疎通を図る。 ・各分掌のリーダーが統括する組織に所属する教員の業務の進捗状況を把握して助言や調整をできているか確認し、必要に応じて指導する。 ・教員が業務に見通しをもち、相談や連携、引継ぎ等をしやすい

		ように、校内人事を工夫する。
教職員アンケート「悩んだり困ったりしたときに相談できる同僚（管理職も含む）がいる」の否定的回答	現状値 7.4% 目標値 0%	・教頭や首席、各学年主任等と連携し、悩んだり困ったりしている教職員がいないか情報の把握に努め、対応する。

目標設定区分4 『地域連携と渉外』

A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
・地域の方に、学校の教育活動や生徒・教職員の様子を知ってもらう。 ・校区小学校、PTA、学校運営協議会等の諸団体と連携し、「地域とともにある学校」づくりをめざす。		関係者アンケート「学校の様子や教育活動について知る機会があった」 現状値 100% 目標値 100% 関係者アンケート「学校の取組みの企画・運営や、教職員、生徒にかかわって楽しかった」の肯定的回答 現状値 83.3% 目標値 90%
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
保護者アンケート「PTAの活動には参加しやすい」の肯定的回答	現状値 68.3% 目標値 70%	・PTAに学校のニーズを具体的に伝えて協力を依頼し、保護者による呼びかけと運営で活動できることを増やす。 ・学校だよりでもPTAの活動を広め、参加しやすい雰囲気をつくる。 ・PTA活動の意義やどの保護者も活動に参加できることを周知する。
関係者アンケート「西中はよい学校と思う」の肯定的回答	現状値 83.3% 目標値 90%	・学校だよりやHPで学校の取組みや生徒の様子を周知する。 ・学校運営協議会をはじめとする地域の方が、学校運営に参画する場と一緒に検討する。